

2019年5月 キューバ医療事情

下記情報は当地報道を抄訳したものです。詳しくは原文をご参照下さい。

【キューバ医療事情】

5月7日【CUBANET】

“アフリカマイマイがグランマ県で30匹見つかる”

アフリカマイマイは地球上で最も破壊的な外来生物100種のうちの1つである。

グランマ県の市民防衛評議会は、キューバ東部のグランマ県でアフリカマイマイが30匹見つかったことを確認した。先月4月にはビジャ・クララ県のカイバリエン市の中心部で数匹、先週サンティアゴ・デ・クーバ県のリオス・シルベラでも見つかっている。アフリカマイマイは広東住血吸虫の中間宿主のため、髄膜炎脳炎の発症する危険性がある。専門家はアフリカマイマイと接触した場合は、直ちに石鹸と水で洗う必要があると警告している。

5月13日【CIBERCUBA】

“サンティアゴ・デ・クーバとハバナで糖尿病性下肢潰瘍予防の研究”

下肢潰瘍を予防し下肢切断を回避するために、患者の早期診断をめざす糖尿病性下肢潰瘍の予防プログラムを作成するために、糖尿病患者の下肢の温度の性状を調べる研究を行っている。国立脈管学・血管外科研究所と遺伝工学・バイオテクノロジーセンターからの研究者は、患者の下肢の温度を測定するためのカメラをサンティアゴ・デ・クーバとハバナに設置した。

5月21日【CUBADEBATE】

“キューバ保健大臣、ボリビアとジブチと会談”

5月20日より28日まで世界保健機構総会には194ヶ国から4000人以上の代表団が集結。キューバ代表団は保健大臣を団長にビオクバファルマの専門家らも参加している。キューバ保健大臣は総会が開催されているジュネーブで、ボリビアとジブチの保健相と会談を行った。ボリビアとの会談では両国間での保健協力における新たな取り組みと今までの成果に対しての活動において合意し、ジブチの大臣との会談ではバイオ医薬品分野を含む新たな仕事の両国間協力を発展させると述べた。

昨日は、キューバ代表団の司会により、「キューバのバイオ医薬品産業の貢献に伴うプライマリ・ヘルスケアの発展」というテーマでアルジェリア、ボリビア、カタール、ニカラグアの国々からか保健問題におけるキューバとの協力関係の結果が発表された。

キューバ保健大臣は5月20日にアルジェリアの保健大臣やトルコ保健相と会談を行った。キューバの保健大臣は21日、第12回非同盟諸国保健大臣会議でキューバの医療協力の真の献身と連帯を歪曲する、いかなる操作を拒否すると宣言した。

5月22日【CUBADEBATE】

“汎米州保健機構所長がキューバの公衆衛生大臣賞を受賞”

第72回世界保健機構総会の3日目に汎米州保健機構（PAHO）の所長はキューバの公衆保健衛生大臣賞を授与された。

PAHOとキューバ代表団は保健システムの重要な問題における協力活動を促進するための両者で署名された協力的戦略推進案に対して意見交換を行った。キューバ保健システムとPAHOの意見交換において高齢化社会や母子保健、非感染性疾患等といった問題が優先事項であることが確認された。

5月23日【CUBADEBATE】

“ブラジルの専門家は「More Doctor」プログラムを諦めている”

報道によると「More Doctor」プログラムにより配置された医師のうち19%に相当する1325人が5月までに参加をとりやめた。1年の最初の3ヶ月で1052人のブラジル人医師が「More Doctor」プログラムから去ることを決定した。これらの医師は、ボルサナード大統領の声明に対して「More Doctor」プログラムの参加を中止したキューバ人医師の代わりであった。キューバのプログラムへの参加中止後、8517人の欠員に対して、当初ブラジルで教育を受けた医師7120人によってその席は埋められたとしていた。しかし彼らは僻地や給料といった様々な理由で職場を放棄し始めた。僻地の自治体や先住民の共同体の深刻な状況を当局は非難している。報道機関はいくつかのブラジルの自治体で医療現場に医師がいないことを確認している。

5月28日【CUBANET】

“オルギン県で新たなアフリカマイマイが発見”

キューバの保健当局は今回、キューバ北東部オルギン県のカコクム市のペスケイロ町とセルテネハ町、オルギン市でアフリカマイマイの存在を初めて確認したことを報告した。地元紙によると世界の中でも最も危険で食欲な生物から住民と農業を守るために地元部隊が動員された。住民は侵略的な外来種であるアフリカマイマイの発見のための情報とアフリカマイマイの接触が致命的な病気の原因となることを教えられた。オルギン県を含めてキューバの10の県で、アフリカマイマイの存在が報告されている。

5月29日【Juventud rebelde】

“ビジャ・クララ県における健康サポート事業”

ビジャ・クララ県の公衆衛生の基盤を強化するために今年の計画が立案された。1700万ペソを超える予算が承認され1120万ペソが医療施設の改修等に割り当てられ、600万ペソが医療機材やその他消耗品の購入に分配された。この事業計画で13市町村に利益をもたらす。

12 の病院、25 のポリクリニコ、101 の家庭医診療所、34 の薬局、助産施設、老人ホームが重点的に改修される予定。

5 月 30 日 【CUBADEBATE】

“モザンビークでのヘンリー・リーブス医療旅団の 48 日間の任務は成功裏に終了”

災害と深刻な伝染病の流行に特化したヘンリー・リーブス国際医師派遣団はサイクロン・イダイによる壊滅的な被害を被ったモザンビークの中央部ソファラ州の州都ベイラ市で 3 月 29 日から 48 日間の激務を果たした。医療旅団は身体的、精神的なダメージに苦しんでいる数千の住民がいる町の中心部であるポクタ・ゲア地区に野外医療施設を配置した。到着 2 日後より、医師は 307 人の患者を受入れ、4 日後には最初の外科手術を行った。48 日の任務にてキューバの病院には 2 万 2259 人の外来患者が訪れ、331 件の外科手術がなされた。この数値は非常事態に配置された 8 つの病院の中で、他の医療機関の全ての診療と手術の合計よりも多かった。